

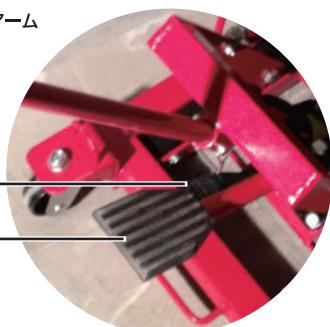
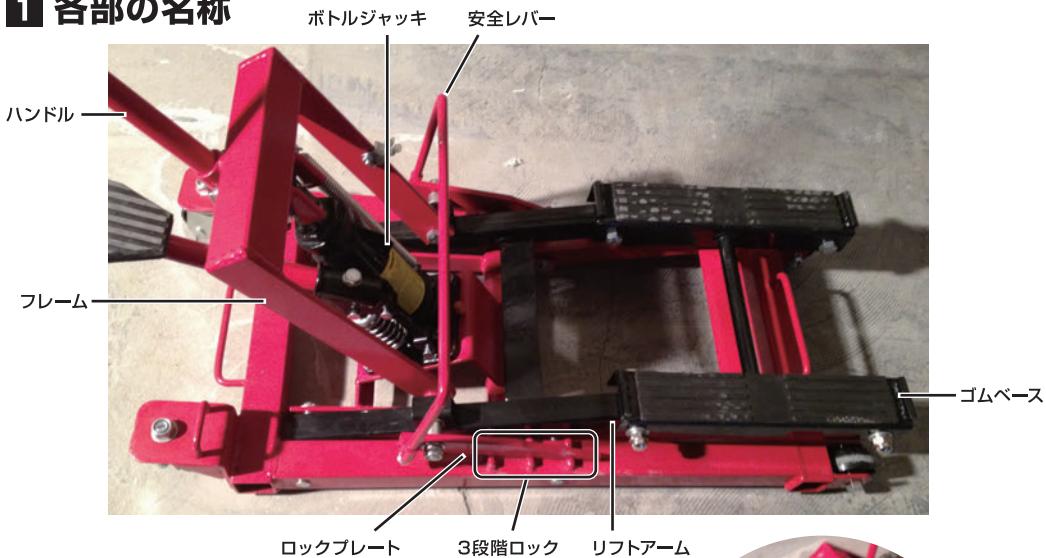
取扱説明書

モノタロウ バイクリフトジャッキ (フット式)

注文コード:88551837

このたびは、バイクリフトジャッキ(フット式)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。

1 各部の名称



2 仕様

| 最大耐荷重 | 680kg |
|---------|------------------------|
| 適用車両 | 680kg以下 |
| 駿府(L×W) | 790×370 |
| 揚程 | 最高位 368mm 最低位 118mm |
| 質量 | 26.6kg |
| 作動油 | ISO VG10 |
| 作動油量 | 170mL |

3 安全にお使いいただくために

本書は、安全に関わる重要な注意事項を、危険・警告・注意のマークで表現しています。本製品を安全にお使いいただき、人体への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

危険・警告・注意の意味は以下の通りです。



この表示内容を無視して誤った取扱いをすると、
死亡または重症を負う可能性が切迫して想定される内容を示しています。



この表示内容を無視して誤った使い方をした場合は、
死亡や重症などの重大な傷害に結びつく可能性があります。



この表示内容を無視して誤った使い方をした場合は人的傷害や製品の破損、
その他の物的損害へつながる可能性があります。

- 本製品は整備士、または整備に関する一般的な知識をお持ちの方が利用することを前提としています。二輪車の構造および構成部品などをよく理解し、十分な経験をお持ちの方が、責任を持って使用してください。
- 本製品を使用する前に、以下の説明を熟読して理解し、厳守してください。特に、安全上の注意事項（警告文）はよく理解するようにしてください。使用方法もよく理解した上で、安全・適切に使用してください。
- 誤った使用方法により本製品が破損したり、人体への傷害、物品などの損傷・損害が生じた場合は、一切の保証および責務は無効となります。



■作業開始前

- 本書の内容並びに本製品上のラベル内容を熟知していない人は使用しないでください。
- 本製品は、下面が平らな車輪、またはフレームが水平でフレームより下にエンジンその他パーツが飛出していない車輪に使用できます。下面が水平ではない車輪には使用できません。
- 耐荷重(680kg)を超える荷重は、絶対に掛けないでください。耐荷重を超えると、構造部分や駆動部分の破壊・変形が生じ、事故や災害につながるおそれがあります。
- 改造は絶対にしないでください。
- 本体に取付けられた警告ラベルをはがしたり、不鮮明なまま使用しないでください。
- 本製品が損傷したり異音がする場合は、使用しないでください。
- 使用前に、各パーツ、ボルト・ナット、溶接部を含むすべての部分に、破損やひび、傷などがないことを確認してください。もし不具合が見つかった場合は、絶対に使用せず、修理を行ってください。
- 修理には純正部品のみを使用し、他の不適切な部品は使用しないでください。
不適切な部品を使用した場合は保証適用外となります。
- 使用前の点検で不具合が見つかった場合、その原因が、過負荷での使用または衝撃を与えたことによると思われるときは、本製品を使用しないでください。
- 本製品を設置する場所に十分な強度があることを確認してください。
- 車両に人や物が乗っていない状態でジャッキアップしてください。

■作業中

- 人力以外の他の動力で操作しないでください。
- 使用中に少しでも異常を感じたら、速やかに作業を中止してください。
- 車両より燃料、バッテリー液などの危険品が流れている場合は速やかに作業を中止してください。
- 本製品でジャッキアップした状態で作業や保管をしないでください。必ず別売のジャッキスタンドを使用してください。
- 安全バルブは出荷時に適正な荷重になるよう調整されていますので、絶対に調整しないでください。

- 本製品を本来の用途以外で使用しないでください。事故やケガの原因になります。
- ジャッキアップポイントは車両の取扱説明書をよく読み、メーカーが指定する場所で使用してください。
- 本製品を使った作業は危険が伴います。安全な作業場所を確保し、作業工程を熟知した上で作業をしてください。
- 作業場所は常に整理整頓し、作業上障害となるような物は置かないでください。
- 作業場所に作業者以外近づけないでください。特にお子様を近づけないよう十分注意してください。
- 本製品は以下の場所で使用しないでください。
- 屋外（雨天の屋外は特に危険です）
 - 湿った場所、濡れた場所
 - 直射日光下
 - 周辺温度が40℃以上になるような高温の場所
 - 可燃性の液体やガスのある場所
- 作業中は必ず換気をし、作業場の通気をよくしてください。
- 作業に適した服を着用してください。ブカブカの衣服、ネックレスなどの装身具は着用しないでください。巻込まれたり引掛かったりして、ケガをするおそれがあります。
- 安全のため安全ゴーグル、安全帽、安全手袋、防塵マスク、耳栓などを着用してください。
- 長髪の人は、髪が巻込まれないよう十分注意してください。
- 作業後はお子様の手の届かない場所に保管してください。



警告

- 使用する工具の説明書をよく読み、注意事項を守って作業してください。
また、部品不足がないか確認してからご使用ください。



注意

4 ご使用方法

■組立



- 各ボルトはしっかりと固定してください。絶対にボルトが緩んだ状態で作業を行わないでください。守らないと、事故やケガの原因になります。
- 各パーツは重量があるので、取扱いには十分注意してください。

- ①フレームを持上げ、ボトルジャッキを差込み、付属のネジとワッシャーでボトルジャッキをプレートに2箇所固定します。



この時、フレームの差込箇所にうまく差込める様にフレームを前後に動かしながら調整します。

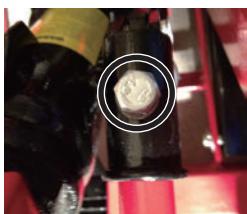




- ②安全レバーを本体に差込み、
付属のナット+ワッシャーで
取付けます。



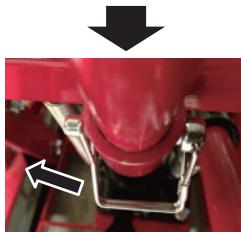
- ③フットペダルを本体に差込み、
付属のボルトとワッシャーで
取付けます。



- ④付属のハンドルを本体に差込み、
固定用ピンで固定します。



この時、ピンを引張りながら入れると
入りやすいです。



⑤ フットペダルを踏み、正常に作動するか確認します。

■ボトルジャッキのエア抜き



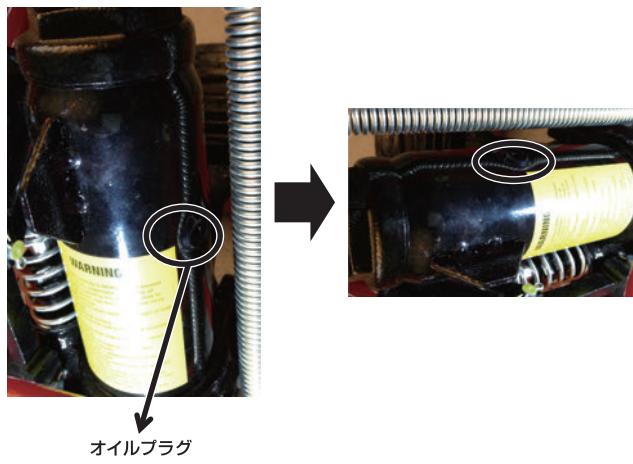
- 作業場所は整理整頓し、作業上障害となるような物は置かないでください。
- 作業開始前に、各部に亀裂、変形、傷、損傷、さび、ボルトナットの緩みなどがないかよく確認してください。



- 負荷をかけていない状態でエアー抜きを行ってください。
- 作業は、必ずロックプレートがロックした状態で行ってください。

①リリースペダルを踏んだままフットペダルを10回程度踏み、ボトルジャッキ内の異物を除去します。

②オイルプラグが上になるように本体を傾けます。



③オイルプラグを外すと、ボトルジャッキ内のエアが抜けます。



- ボトルジャッキが垂直の状態でオイルプラグを外すと、オイルが漏れるおそれがあります。必ずオイルプラグが上になった状態でプラグを外してください。

④オイルプラグを元どおり取付けます。

⑤フットペダルを踏み、正常に作動するか確認します。リフトアームが正常に上がらない場合は、手順1～4を繰り返し、再度エア抜きを行ってください。

■ ジャッキアップ



- 作業はコンクリートなどの固く平らな場所で行ってください。柔らかい場所、傾斜や凹凸がある場所で使用すると、ジャッキ本体が転倒、またはジャッキアップした車輛が落下するおそれがあります。
- 車両より燃料、バッテリー液などの危険品が流れている場合は速やかに作業を中止してください。
- 本製品でジャッキアップした状態で作業や保管をしないでください。必ず別売のジャッキスタンドを使用してください。**
- ジャッキアップ中は車輛が動かないようにしてください。また、車輛移動を目的としたジャッキの使用はしないでください。
- ジャッキアップポイントは、車両の取扱説明書をよく読み、メーカーが指定する場所で使用してください。
- 車両に人や物が乗っていない状態でジャッキアップしてください。
- 本製品または車両の周りに障害物を置かず、十分なスペースを確保してから作業してください。

①車輪下にジャッキを挿入します。

②車輪フレーム下部に両方のゴムベースが均一に接地するまで、フットペダルを踏んでリフトアームを上げます。



- ゴムベースにしっかりと車輪が乗り、車体が安定していることを確認してください。

③ロックプレートを上げます。



④両手で車輪をしっかりと押さえながらフットペダルをゆっくり踏み、車輪を必要な高さまで持上げます(3段階ロック位置のうち必要な高さまで)。



- 車輪を持上げる際は、必ず2人で行ってください。1人で行うと、車輪転倒のおそれがあります。

⑤ロックで固定します。

a ロックプレートをしっかりと下げます。



ロックプレートを下げる

b ジャッキダウンすると、ロックプレートが3段階ロックのストッパーに当たりロックされます。



ロックプレートが
ストッパーに当たり
ロックされる

■ジャッキダウン



- ジャッキダウンする前に、必ず車輪の回りに人がいないことを確認してください。
- しっかりとロックされていることを確認してください。ロックが弱い場合、車輪転倒のおそれがあります。

①ロックプレートがロックされた状態で、ジャッキアップするとロックが解除されます。



②ロックが解除されたら、ロックプレートを上げてフレームに付いているクリップに挟込みます。



③両手で車輪をしっかりと押さえ、リリースペダルを慎重に踏みます。



- リリースペダルはゆっくり慎重に踏んでください。急に踏むと、車輪が急激に落下して、事故やケガの原因になり大変危険です。

④車輪下から本製品をゆっくりと抜取ります。

■作業終了

作業が終了したらゴムベースやフットペダルなどの各部に付着した泥、オイル、グリス、水滴などの汚れをきれいにふき取って保管してください。長期間使用しない場合は、以下の場所を避けて保管してください。

- 子供や幼児の手の届く場所
- 高温多湿の場所
- ホコリの発生する場所
- 振動する場所

5 メンテナンス

| | |
|--|--|
|  警告 | <ul style="list-style-type: none">●安全バルブは適正な荷重になるように出荷時に調整されているため、絶対にさわらないでください。●火気のある場所やその近くでオイル充填および交換をしないでください。また、通気の良い作業環境で行ってください。●必ずジャッキ専用オイルを使用してください。作業不良の原因となりますのでブレーキフルードは絶対に使用をおやめください。 |
|  注意 | <ul style="list-style-type: none">●メンテナンスは、本製品の扱いに慣れた人が行ってください。また、絶対に本製品を分解しないようにしてください。 |

ジャッキオイル(170mL)は、定期的に交換してください(目安:約1年)。交換時期は、使用頻度によって調整してください。

本製品は常に清潔にして、可動部分に時々注油してください。また、錆などが無いか確認してください。

6 故障と処置

故障かなと思われる前に、もう一度本書をよくお読みになり、下記の点検をしてください。それでも状態に変わらない場合は、弊社お問合せ窓口へご相談ください。

| 症状 | 原因 | 対策 |
|------------------------|------------|-------------------------------|
| 油圧を保持しない | バルブ密着箇所の汚れ | 本書の「ボトルジャッキのエアー抜き」手順をご対応ください。 |
| アームが上がらない、アームが下まで下がらない | エアーの嗜み込み | 本書の「ボトルジャッキのエアー抜き」手順をご対応ください。 |
| アームが上まであがらない | オイル量が不適正 | オイル量を確認し、適正な量へご調整ください。 |
| 負荷時の動作不良 | エアーの嗜み込み | 本書の「ボトルジャッキのエアー抜き」手順をご対応ください。 |
| | オイル量が不適正 | オイル量を確認し、適正な量へご調整ください。 |
| | ボトルジャッキ不良 | ボトルジャッキ交換が必要です。 |

株式会社 MonotaRO

<https://www.monotaro.com/>
TEL:0120-443-509

MADE IN CHINA
更新日 2021.07.28